

きてみてナース みてなース



市立福知山市民病院

所在地

620-8505

京都府福知山市厚中町231番地

TEL:0773-22-2101

FAX:0773-22-6181

ホームページ: <http://www.fukuchiyama-hosp.jp/>

～一度私たちの病院に来てみませんか？～

第9号 発行日:平成22年10月8日

★新人さんの成長日記～只今奮闘中～★ 夜勤編

★新人さんの感想・意見！！

Q1:初めての夜勤での失敗談はありますか？

- ・夜勤なのに、ナースコールで「どうされましたか？」と言ってしまった
- ・点滴が漏れていることが分からなかった
- ・消灯時間までにバイタル測定や眠前薬の配薬が出来なかった

Q2:寝坊しないコツ、眠たくなった時の対処法はありますか？

- ・目覚ましをかける。目覚ましだけでは無意識に止めてしまうので、家族に起こしてもらい
- ・水分補給をする。栄養ドリンクを飲む
- ・顔を洗う
- ・寝る前にコーヒーを飲んで、明るい部屋でテレビをつけて寝る

Q3:夜勤の時に食べるお菓子・ジュースなどのMy定番はありますか？

- ・頭に糖分が行くように甘い物を食べる。食べ過ぎると逆に眠くなるので、腹5分目くらいで
- ・タウリン2000mg配合の栄養ドリンク
- ・目覚ましのコーラ
- ・コーヒー、紅茶

Q4:入る前に想像していたことと、実際のギャップはありましたか？

- ・大変であることは想像していたけど、実際にはナースコールが多すぎて申し送りまでにバイタル測定ができなかったので、ポイントを掴んで回らないといけないと感じたことがあった
- ・夜勤＝怖い、幽霊が出そうと思っていたけど、今では患者の急変が一番怖い
- ・点滴の多さ、業務の多さにびっくりした

Q5:月に何回くらいしていますか？また、どんなことをしていますか？

- ・月に5～7回ほど。夜勤では、患者の観察、バイタル測定、オムツ交換、体位変換、食事介助、点滴の更新、内服の服薬確認などを行います。今は業務をこなすことで精一杯です

Q6:初めての夜勤の感想は？また、現在では？

- ・深夜勤務に入る前、緊張で全く眠れなかった
- ・勤務中も常にドキドキしていた
- ・もっと周囲を見て動けるようになりたい
- ・今でも深夜勤務、準夜勤務は特に緊張します
- ・夜中も何か起きるんじゃないかと不安だったが、朝日が昇って、申し送りが終わった瞬間達成感があった。「無事に終わってよかった～」と思った

Q7:夜勤で良かったことは？

- ・巡室する際はとても忙しいけど、時間が空いた時は日勤では忙しくなかなか話せない先輩ともいろいろな話ができる
- ・深夜明けはとても眠たいけど、帰ってからは寝る時間や遊びに行く時間もある
- ・患者さんの寝顔が見られる
- ・多くの患者を看るのは大変だけど、日中の業務とは少し違うこともあり、気分を切り替えて仕事ができる

★救急蘇生研修★

当院では、院外での救急蘇生の指導経験のある看護師の指導で、新人看護師を対象に年に3回救急蘇生研修を行っています。

経験豊富な看護師の、時には厳しく、時には楽しい指導で、救急蘇生に必要な知識と技術を習得していきます。

救急蘇生とは・・・



では！実際にやってみましょう！！

救急蘇生のポイントは、「絶え間ない胸骨圧迫」にあります。研修で習得した知識と技術は今後に活かされます。



★先輩ナースの感想・意見！！

Q1:新人さんと夜勤に入った時、気をつけていることはありますか？

- ・いっぱいあって…。こっそり見に行っています
- ・処置の漏れがないか、とりあえず新人さんが受け持っている患者は全てチェックしている
- ・事故がないよう気をつける

Q2:新人さんとの夜勤で大変だったことはありますか？

- ・新人さんがミスをして落ち込んだ時
- ・情報収集をしないといけないこと、担当の患者の巡視を全てカバーしないとできなかったこと
- ・一緒に勤務だと、なんとなく緊張するし責任を感じる

Q3:新人さんと夜勤に入り、喜びを感じたことはありますか？

- ・輸液管理や観察がちゃんと出来た時
- ・もうすぐ交代だ！と思った時
- ・以前注意を受けたことが、ちゃんと出来ていた時

Q4:夜勤の時に食べるお菓子・ジュースなどのMy定番はありますか？

- ・オロミンC、炭酸飲料水、コーヒー、牛乳
- ・チョコレート
- ・パン
- ・食事はカップラーメン

Q5:色々教えてあげたいな～と思う新人さんとは？

- ・一生懸命さ、誠実さが見える新人さん
- ・「やったことがない」で終わらせない方
- ・話をしっかり聞いてくれる方、意欲のある方
- ・新人さん全員！！
- ・素直に返事してくれる方、やる気を見せてくれる方

★4階南病棟:産婦人科・小児科病棟の紹介★

4階南病棟は産婦人科・小児科・小児外科・耳鼻科・皮膚科疾患などの小児全般を対象とした病棟で、産婦人科・小児科の救急対応が出来る京都府北部の2次医療の数少ない病院として市民の期待も大きいところです。小児疾患としては肺炎や喘息・腸炎などのほかに、経管栄養を必要としたり人工呼吸器管理を必要とする患児もおられます。

また、出生後に何らかの異常があったベビーに対しスタッフ全員が直ちにNRP(新生児蘇生プログラム)の確実な実施が出来ることを目標に定期的に勉強会を開きトレーニングを行っています。

少しでも子供たちが入院中の生活を楽しい気持ちで過ごせるようナース・ステーションの窓にそれぞれの四季に合わせてスタッフが自作したユーモアある絵を貼っています。ナース・ステーションの前を通る子供たちや家族には大好評です。

また、患者の誕生日にはその子の好きなキャラクターなどいろいろ工夫した誕生日カードを作成し、看護スタッフやドクターからのメッセージを集め患者に渡しています。

大切な命を預かることは緊張も多々ありますが、それ以上にベビーや患児が元気になった姿に癒されたり、患者や御家族との関わりの中で喜びや、やりがいも多く感じたりできる病棟です。是非、一度見に来てください！！

